

2020年3月4日

会員の皆様へ

卓球練習場での感染予防について

公益財団法人日本卓球協会

専務理事 星野 一郎

常務理事 松尾 史朗

新型コロナウイルスの感染が多く地域に広がっており、スポーツ施設での感染が疑われるケースも報告されていることから、卓球練習場での感染予防について、現時点で有効と思われることについてお知らせいたします。

1. 軽い風邪症状（のどの痛みだけ、咳だけ、発熱だけなど）でも練習への参加を控えて下さい。

これが一番大切です。若い人では、新型コロナウイルスに感染しても重症になる割合が低く、特段の治療なしに治る人が多いことが分かっています。しかし、症状が軽い人でも他人へ感染させることがあり、気がつかないうちに、多くの人に感染を拡げてしまうことがあります。

従って、普段であれば練習に参加する程度の軽い風邪症状であっても、練習を休み、チームメイトに感染させないように配慮して下さい。

2. 練習場の風通し、換気に心がけて下さい。

屋内の閉鎖的な空間で、人と人が至近距離で、一定時間以上過ごすことによって、集団感染が発生する可能性があると言われていています。その反対に屋外での活動や、人との接触が少ない活動、手を伸ばして相手に届かない程度の距離をとって会話をするなど、感染のリスクが低い活動とされています。

感染の拡大予防のため、練習場の風通しを良くする、頻回の換気などの対策を行なって下さい。特に小規模の練習場ではご注意ください。

- * このお知らせは3月2日に厚生労働省 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議が発表した「新型コロナウイルス感染症対策の見解」をもとに作成したものです。新型コロナウイルスについては、まだ分からないことがたくさんあります。本日の情報も今後変更されることがあります。その際には、再度皆様にお知らせいたします。